

平成23年度 外部評価書

学校名	和歌山市立 宮小学校
校長氏名	谷田 幸雄
作成日	平成24年3月1日

1 教育目標

心身共にたくましく、明日の社会を築く、創造性豊かな子どもの育成

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点 目標に 対する 意見	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもを深く見つめる 学校での子どもの様子を地域に伝え、地域からも子どもの様子を伝えながらより深く子どもを見つめていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心をたがやす がんばって取り組んでくれていると思う。しかし、卒業してもそれが生かしているかが課題ではなかろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業」で子どもを鍛える 勉強がわかるということはとても大切なことである。
取組 の状況 に対する 意見	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを応援する目で見つめることは大切なことである。 学校からの情報発信は地域と学校をつなぐ上で大切である。 アルミ缶集めで地域とつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣や生徒指導の徹底や道徳授業を充実させることに取り組んでくれていると思うが、中学校に進学してもそうであってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を身につけ、学力を向上させるために授業を大切にすることは大切なことである。
検証 結果に 対する 意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの情報発信では、保護者の29%が「あまりそう思わない」「思わない」と回答していることから、改善が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、「いじめ」に関しては厳しい結果になっている。取り組みんでくれていることも伝わらないこともあるだろうが民生の方や関係機関とも連携して取り組んでいくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解できていない児童、また学習に意欲をなくしている児童への働きかけが特に必要である。中学校へ向けて、高学年の学習への意欲の減退は、生徒指導の課題となってあらわれるのではないだろうか。
改善 方法に 向けて の意見	<ul style="list-style-type: none"> 防災の面からも地域との連携が一層必要と思われる。(非常災害時、避難所開設に関わる情報を共有しておくことが必要である。) 中学校へ進学していても素直でよい生徒になっていってもらえるよう、いっそう地域での交流の場が必要でないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもセンター事業や育生会の事業ははじめ地域で保護者がもっと交流し合える場を多く子どもたちを地域でも育てていく必要があるのではないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学力の不足している児童への指導は、小学校で必要である。

3 その他のご意見